



レンタカーを借りたら、自然と秋田の伝統工芸に触れられる。

いずれ観光客を（呼び込む）側に
チャレンジ精神を忘れない

設立から20年経った今でも、鎌田

消費者と提供者は隣り合わせ
地域発展は（支え合う）こと

秋田に生まれ育った鎌田社長。地元への愛着は人一倍強いのだと言います。秋田には魅力ある資源がたくさんあるけれど、それを発信する力が少し弱いのかな、と感じています。私はいつも興味が湧いたらやってみたい、それをどう生かせるのかを考える日々。昔はどこまでも一人で勝つということに憧れていたけれど、今は違う。消費者とサービス提供者、それぞれが支え合ってこそ地域が発展するのだと思っています。

ください。』と言って（ヘルカムがっこ）をお出します。〇〇に行くならこのお店がオススメです。〇〇がしたいなら、〇〇に行ってみて。など、観光を満喫するための作戦会議と一緒にしているんです。

移動手段の貸し出しというレンタカーのイメージを覆す『ご当地レンタカー』。『業界の常識は世間の非常識』というのが私のビジネスポリシー。画一的ではないものを創りたかった。移動手段が少ない秋田で、寄り道が醍醐味のクルマ旅だからこそその楽しみ方を知っていただきたいですね。

社長はチャレンジ精神を忘れません。クルマの売買・整備事業では、現在整備工場の指定化を目指しています。また、レンタカー事業では旅行代理店を開設することが目標。今は秋田にいらしたお客様にレンタカーを提供していますが、ゆくゆくは私たちでお客様を呼び込めるようにしたいんです。本県の文化を体験できるプランなどを盛り込んだ企画を発信して、『ご当地レンタカー』を全国に広めていきたいですね。そして、創業以来大切にしてきた（働く社員たちが誇りを持てる会社になる）という信念を、これからも貫いていきたいです。

お客様と社員、取引先。関わる人々を大切に温かい人柄が印象的な鎌田社長は、熱い眼差しで新たなステージを見据えています。



時代の先端に立ち、企業や団体を引っ張っているトップリーダーは、どんな思いで働き、どんなプライベートな一面を持っているのか。「あきたタウン情報」の編集長・ミキティが秋田の業界で今、輝く人にインタビュー。

編集長が

いま会いたい

トップリーダー



観光客に人気！
話題の『ご当地レンタカー』
仕掛け人の思いが知りたい！



いつもお客様と同じ目線で！
頼ってもらえる喜びが原動力

中古車買取販売店「ラビット秋田臨海店」の運営と、秋田空港ターミナルビルの隣接地にてレンタカー事業「ドラグーンカーズ空港店」を展開する、株式会社ドラグーン。1月には設立20周年を迎えます。

メイン事業である中古車買取業は「クルマ初級者専門店」がコンセプト。クルマ選びから維持管理の相談、アフターサービスまでを行うことで、老若男女を問わず多くのお客様から

信頼されてきました。また、中古車を活用したレンタカー事業は、内装に伝統工芸の技術を活用し、ハンドルとコンソールパネルは川連塗、ウインドウスイッチパネルは樺細工で装飾しています。観光情報などを調べられるタブレット端末を無料で利用客に貸し出すサービスも相まって、大きな反響を呼んでいるそう。

利用客の約6割は観光客。一般的にレンタカーの手続きは10分もあれば終わりますが、当店でいらいしやるお客様は平均で30分ほど滞在します。単に車両を貸し出すだけでなく、秋田を楽しんでもらえるようサービスを提供しているからです。お客様がいしたら、まずねえ（休んで

業界の常識の逆をつくことで
付加価値のある存在に

話題の『ご当地レンタカー』は4台。内装に秋田の伝統工芸の技術を活用し、ハンドルとコンソールパネルは川連塗、ウインドウスイッチパネルは樺細工で装飾しています。観光情報などを調べられるタブレット端末を無料で利用客に貸し出すサービスも相まって、大きな反響を呼んでいるそう。

代表の鎌田学さんは、「お客様に頼られているという実感が、私たちの原動力。クルマの売買・整備、レンタカー、どちらの事業でもお客様のニーズに親身に応えるということをモットーに取り組んでいます。『あなたのおかげで安心してハンドルを握れる』『こんなに親切に対応してくれたのは初めて』など、喜びの声をいただく、もっと頑張ろうと思えるんです」。

INFORMATION



2019年4月にオープンした「ドラグーンカーズ空港店」は、『レンタカーを借りられる観光案内所』を目指している。車内空間に歴史と伝統が息づいた「ご当地レンタカー」は、観光接待にも好評。県外からの大切なお客様に“走るおもてなし”を提供している。6時間・8,000円～。このほか、10分・100円のレンタカーもあり。☎018-886-5107

この企業の ココがすごい！



2011年に「あきたEV研究会」を発足した鎌田社長。改造EVの取り組みが人づてで川連漆器の若手職人の耳に届いたことが、『ご当地レンタカー』の始まりだった。川連塗、樺細工、秋田八丈。車内を秋田の伝統工芸の新しい発信場所として見いだした。



プライベートのぞき見 一問一答

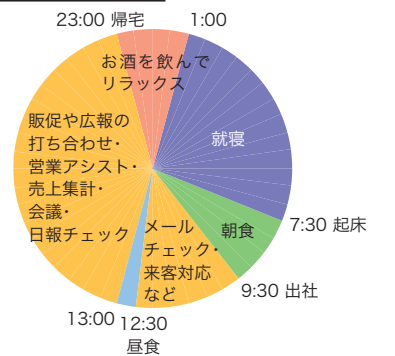
- 家族構成／独身
- 愛読書／芥川龍之介の作品全般、ビジネス書諸々（最近、小山昇氏の著書）
- 休日の過ごし方／家の掃除、鍼灸院に行く、録り溜めたテレビ番組を観る
- 落ち込んだ時の復活法／スマホゲーム、昼酒（予定のない休日限定）
- 気分がアがる愛用品／最近押し入れから引っ張り出してきたBCLラジオ（スカイセンサー）
- いざという時の勝負メシ／カロリー度外視のガッツリ系
- 最近気になること・もの／「ドラグーンカーズ空港店」で保護された猫「ぼーちゃん」
- お気に入りの秋田弁／「け」
- 自身を表す漢字・文字／仕・考
- ココロに響く言葉／「今日から始めよう」「行動が人格である」

企業データ

所在地／秋田市八橋字下八橋191-22
☎018-867-8400
▶設立／2000年1月 ▶資本金／1,000万円 ▶売上高／6億6,000万円
▶従業員数／14人
▶主な事業内容／自動車販売・整備、レンタカー

Company data

鎌田社長のとある1日



出勤後は事務や来客対応などの内勤。30分ほど昼休憩の後、レンタカー事業の打ち合わせで外出することも。イレギュラーな業務が多く不規則ではあるものの、帰宅後は大好きなお酒を愉しむ日々。マイブームは日本酒だそう。